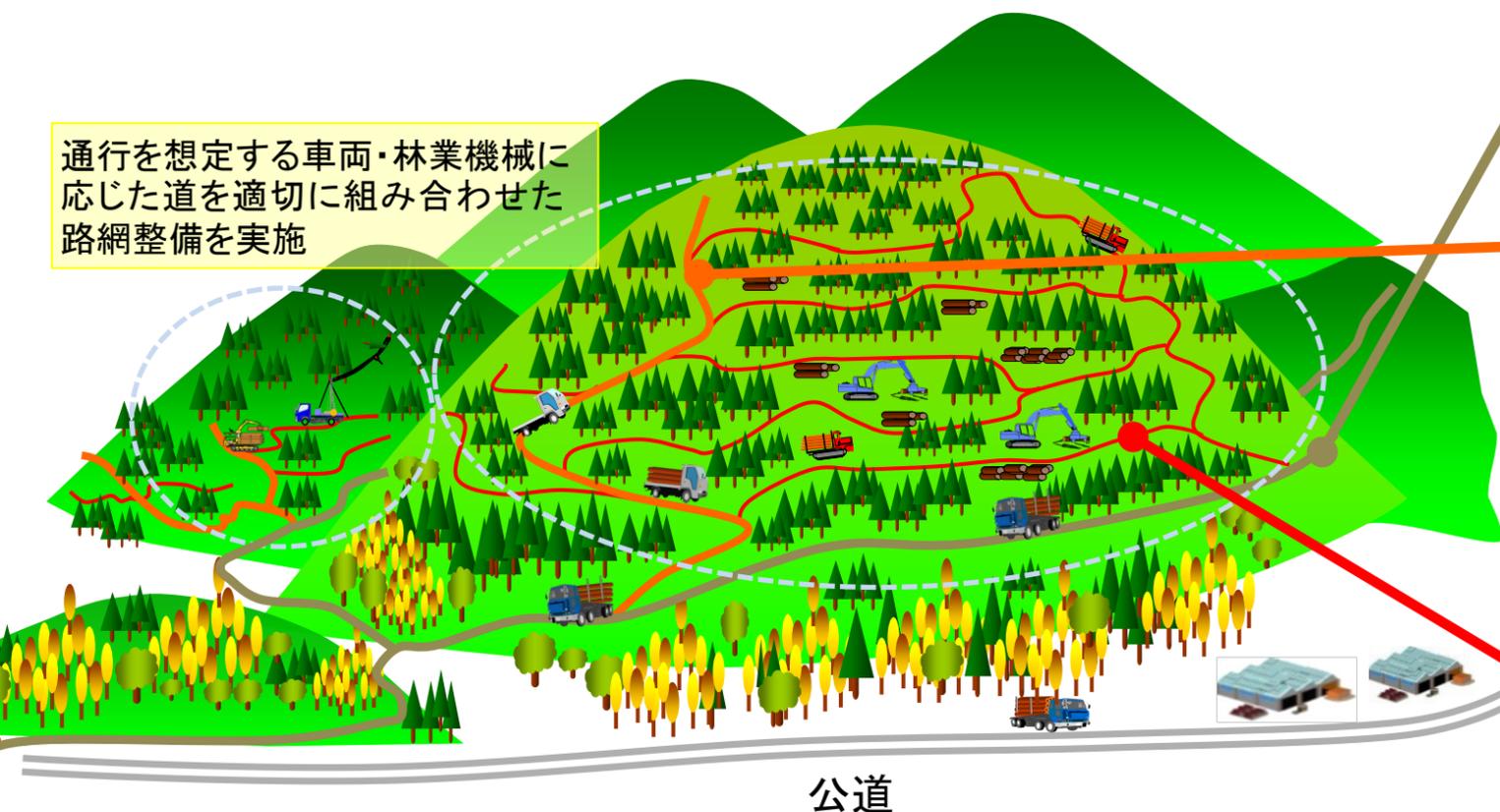


持続的な森林経営の実現に向けた路網整備の推進

森林の有する多面的機能を発揮させるとともに、持続的な森林経営の実現に向けて、森林施業や木材の輸送等を効率的に実施するためには、路網整備を進めていくことが必要です。

このため、森林整備事業において、丈夫な構造により、長期にわたり使用することができる、それぞれの役割に応じた路網整備を支援しています。

通行を想定する車両・林業機械に応じた道を適切に組み合わせた路網整備を実施



○林道（効率的な森林の整備や地域産業の振興等を図る道）

- ・主に森林施業を行うために利用（不特定多数の者も利用可能）
- ・路網の根幹となる幹線やそれを補完する支線等の道
- ・森林整備の基盤はもとより生活環境の改善、災害時の代替路などにも寄与



○林業専用道（主として間伐や造林等の森林施業の用に供する林道）

- ・森林施業を行うために利用（特定の者の利用を想定）
- ・10t積トラックや林業用車両（大型ホイールフォワード等）の走行を想定
- ・木材等の安全・円滑な運搬が可能な規格・構造を有する丈夫な道



○森林作業道（導入する作業システムに対応し、森林整備を促進する道）

- ・森林所有者や林業事業体が森林施業を行うために利用
- ・主として林業機械（2t積程度のトラックを含む）の走行を想定
- ・経済性を確保しつつも繰り返しの使用に耐える丈夫な道



路網整備と高性能林業機械を組み合わせた作業システムの導入

路網整備に当たっては、導入する高性能林業機械の性能を最大限発揮させるため、合理的に路網を配置し、素材生産の工程全体を通じて生産性を高めることが必要です。なお、最適な作業システムは、地形・地質、土質等の自然条件等に応じて多様なものが想定され、下に示すのはその一例です。



豪雨等に対応した林道整備の推進

のり面の強化

のり面の崩壊防止のため、地質・土質の脆弱なのり面に対して安定勾配での切直しやのり面保護工を設置。

のり面保護工



路面の強化

豪雨等による路面の侵食や泥濘化（ぬかるむこと）の防止、自動車通行による損傷の抑制のため、堅固な路面を構築

コンクリート路面工



排水機能の強化

豪雨時の流下土砂による水路や暗渠の閉塞・越水を防ぐため、十分な機能を有する排水施設を設置。

暗渠工

